

相馬市復興施設 かわら版

東日本大震災により被災した建物の復旧・復興状況や、震災後、新たに建設する施設について、その概要と進捗状況をお知らせいたします。



施設名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①相馬市庁舎	完成・使用開始	完成・使用開始	完成・使用開始	完成・使用開始
②千客万来館・中央公民館	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
③相馬市川沼体育館	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
④相馬市LVMH子どもアート・メゾン	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑤公立相馬総合病院	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑥子ども公民館	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑦相馬市民屋内温水プール(仮称)	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑧相馬市復興交流支援センター	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑨原釜防災集会所	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑩慰霊碑・鎮魂震災祈念館	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑪原釜荷捌き・共同集配・海水浄化施設	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑫原釜漁具倉庫施設(底曳及び小型)	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑬松川ポンプ場	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑭細田ポンプ場	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑮磯部水産加工施設	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑯磯部漁具倉庫施設(小型)	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑰相馬市歴史資料収蔵館	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備
⑱相馬市郷土蔵	設計・準備	設計・準備	設計・準備	設計・準備

※各施設の概要については、現時点での内容であり、今後事業の進捗により変更があります。また、事業費についても現時点での積算に基づいた金額であり、今後変更となります。

13 松川ポンプ場

相馬市尾浜字港町2-37

概要	構造: 鉄筋コンクリート造 階数: 地上4階 建築面積: 637㎡ 延床面積: 1,158㎡ 機能: 排水ポンプ(内径800mm2台、内径300mm1台)
事業費	17億8,041万円
財源	国補助等 100%

東日本大震災の地震による地盤沈下に伴い、満潮時および雨天時において道路や住宅地が冠水し、生活に支障をきたしているため、恒久的な排水対策としてポンプ場を整備し、地域の安心、安全な住環境の整備を図る。



14 細田ポンプ場

相馬市尾浜字札ノ沢70

概要	構造: 鉄筋コンクリート造 階数: 地上4階 建築面積: 947㎡ 延べ面積: 1,493㎡ 機能内容: 排水ポンプ(内径1,200mm2台、内径500mm 1台)
事業費	約27億円
財源	国補助等 100%

東日本大震災の地震による地盤沈下に伴い、満潮時および雨天時において道路や住宅地が冠水し、生活に支障をきたしているため、恒久的な排水対策としてポンプ場を整備し、地域の安心、安全な住環境の整備を図る。



15 磯部水産加工施設

相馬市磯部字大迎1128

概要	構造: 鉄筋コンクリート造 階数: 地上一部2階 建築面積: 3,560㎡ 機能: 水産加工施設、管理事務室 ほか
事業費	約18億5,000万円
財源	国補助等 100%

水産物の早期安定供給と水産業の経営再開を実現するため、基盤再生に必要な共同で利用できる施設を整備し、総合的な支援事業を実施する。
磯部地区では、震災前に盛んだった水産加工業を再スタートさせるための施設を整備する。



16 磯部漁具倉庫施設(小型)

相馬市磯部字大洲

概要	構造: 木造 階数: 一部2階建 建築面積: 約500㎡ 延べ面積: 約650㎡ 機能内容: 漁具倉庫(小型: 1棟16区画)
事業費	約9,000万円(周辺整備含む)
財源	国補助等 100%

水産業の早期経営再開を実現するため、基盤再生に必要な共同で利用できる施設を整備し、総合的な支援事業を実施する。
新たな住宅地整備に伴い、漁業者の職住分離の新しい漁業形態を支える施設として、漁具等を保管する漁具倉庫を整備する。



17 相馬市歴史資料収蔵館

相馬市中村字北町51-1

概要	構造: 鉄骨造 階数: 地上2階 建築面積: 592.30㎡ 延床面積: 1,061.76㎡ 機能: 展示室、収蔵室、研修室 ほか
事業費	4億3,259万円
財源	県補助等 約39% 市債19% 市費42%

老朽化した現施設に代わる新たな施設を整備し、次世代へ継承すべき相馬の歴史等に関する資料を保存するとともに、展示や研修室等を利用した体験学習など子どもたちや観光客を含む来館者に相馬の歴史をわかりやすく理解してもらい、文化交流拠点としての活用を図る。



18 相馬市郷土蔵

相馬市中村字北町51-1

概要	構造: 鉄骨造 階数: 地上2階 建築面積: 164.07㎡ 延床面積: 265.45㎡ 機能: 展示室、事務室、倉庫 ほか
事業費	1億245万円
財源	国補助等 100%

震災で被災し喪失の恐れのある民俗資料(日常生活に使用されていた古い農具や漁具、民具等の道具類)を収集保存し後世に伝承していくとともに、郷土の歴史伝統文化を市民のみならず多くの人に発信し観光交流施設として活用することで、震災後の地域の活性化を図る。



1 相馬市庁舎

相馬市中村字北町63-3



概要	構造:鉄骨造、基礎下免震工法 階数:地上3階 建築面積:3,879.16㎡ 延床面積:9,574.63㎡ 機能:各課執務室、議場、会議室 ほか
事業費	37億2,000万円(計画額)
財源	国補助等 約35% 基金 約44% 市債21%

市庁舎耐震診断の結果、耐震性能ランクは『C』。
東日本大震災並みの大地震が再び起こった場合、損壊により災害対策本部等の防災拠点としての機能が果たせない状況になることから、新たな市庁舎を早急に建設する。

2 千客万来館・中央公民館

相馬市中村字北町55-1



概要	構造:鉄骨造 階数:地上1階一部2階 建築面積:775.73㎡ 延床面積:940.74㎡ 機能:研修室兼観光案内所、調理実習室、和室、ホール ほか
事業費	3億3,362万円 市費 約1%
財源	国補助等 約51% 寄付 約48%

観光交流拠点として全国からの誘客の第一受け入れ拠点としての役割を担う。
従来の自然やスポーツなどの観光資源の情報提供や宿泊案内などを行うとともに、復興視察に訪れる方などへのスムーズな誘導を進め、全国からの誘客を進めていく。

3 相馬市川沼体育館

相馬市中村字桜ヶ丘54-1



概要	検討中
事業費	未定
財源	未定

震災の影響で施設が半壊となり解体。体育館再建に向け規模、内容を検討中。

※震災前の写真(現在は既に取壊済)



4 相馬市LVMH子どもアート・メゾン

相馬市中村二丁目2-7



概要	構造:木造 階数:地上2階 建築面積:268.19㎡ 延床面積:291.48㎡ 機能:図書閲覧、多目的研修室 ほか
事業費	1億7,815万円 国補助等 約10%
財源	寄付 約73% 市費 約17%

次世代を担う子どもたちの心のケアを行い、学力向上、情操教育、芸術活動の場を提供する「LVMH子どもアート・メゾン」を整備する。
この施設は、心理的なケア活動を行っているNPO法人相馬フォロアチームの活動拠点としても利用を予定している。

5 公立相馬総合病院

相馬市新沼字坪ヶ迫142



概要	構造:鉄筋コンクリート造 階数:地上3階・地下1階 建築面積:1,935.51㎡ 延床面積:6,222㎡ 機能:受付・会計、外来診療、手術室、透析室、化学療法室 ほか
事業費	約32億8,000万円
財源	県補助等 約50% 企業債 約50%

東日本大震災により施設被害の大きかった第1病棟を敷地内に移転改築する。
改築に際しては、既存の第1病棟の機能移設を基本に、新たな医療ニーズに対応するための医療設備を整備する。

6 子ども公民館

相馬市尾浜字細田



概要	構造:木造一部鉄骨造 階数:地上1階 建築面積:394.18㎡ 延床面積:387.56㎡ 機能:遊戯室、放課後児童クラブ室、図書室・子育てサロン室、授乳室 ほか
事業費	1億4,617万円
財源	国補助等 100%

子育て支援拠点となるように、従来の福祉・教育の垣根を越えた、子ども公民館を整備することで被災地に子ども専用の公民館を造り、その活動を通じて世代間の交流を図り、子どもたちのすこやかな成長と健全育成の支援を目的とします。

7 相馬市民屋内温水プール(仮称) 相馬市光陽三丁目2-18

概要	構造:鉄骨造 階数:地上2階 建築面積:3,775.36㎡ 延床面積:4,668.11㎡ 機能:温水プール(50mプール、幼児プール)、更衣室、見学スペース ほか
事業費	16億9,673万円
財源	国補助等 100%

年間を通じ天候に左右されず水泳ができるよう、屋内型の温水プールを整備する。
このプールには、市内各学校のプール授業での利用はもちろん、幅広い年齢層の利用も考慮して50mのプールと幼児プールを整備します。



8 相馬市復興交流支援センター

相馬市光陽三丁目3-1

概要	構造:木造(大断面集成材) 階数:地上1階 建築面積:649.44㎡ 延床面積:630.88㎡ 機能:会議室、更衣室、シャワー室、事務室、倉庫 ほか
事業費	2億9,295万円
財源	国補助等 100%

光陽サッカー場内に、通常時は住民が集う交流の場であり、周辺スポーツ施設利用者の休憩場所として活用できる施設を整備する。
なお、災害時には、沿岸部の住民と工業団地の誘致企業の従業員の方々の避難場所等の防災拠点として利用する。



9 原釜防災集合所

相馬市原釜字大津241-5

概要	構造:木造一部鉄骨造 階数:2階建 建築面積:78.26㎡ 延床面積:156.52㎡ 機能:研修室、収納庫、厨房、多目的トイレ、和室 ほか
事業費	約2,506万円
財源	国補助等 100%

原釜地区において、災害時の初期段階での避難活動、消防活動等のコミュニティ活動の拠点となるべき施設を整備する。
また、平常時においてはコミュニティの維持や防災意識の高揚を図るため、防災教育の場としても活用する。



10 慰霊碑・鎮魂震災祈念館

相馬市原釜字大津270(笠岩公園)
相馬市磯部字狐穴12-2(旧磯部公民館)

概要	◆慰霊碑(H26.3.11建立): 材質:御影石 ◆鎮魂震災祈念館 構造:鉄骨造 階数:地上1階 建築面積:約220㎡ 機能:研修室、ホール、事務室 ほか
事業費	1億4,691万円
財源	国補助等 約69% 市費 約31%

震災犠牲者の慰霊のため、原釜地区及び磯部地区に犠牲者の御芳名を刻んだ慰霊碑を建立する。
また、東日本大震災をいつまでも忘れることなく記憶にとどめ、また、遺族の心の拠り処となる鎮魂震災祈念館を整備する。



11 原釜荷捌き・共同集配・海水浄化施設

相馬市尾浜字追川196

概要	構造:鉄筋コンクリート造 階数:一部3階建 建築面積:9,574.16㎡ 機能内容:荷捌き、集配、海水浄化
事業費	34億7,869万円
財源	国補助等 100%

水産物の早期安定供給と水産物の経営再開を実現するため、基盤再生に必要な共同で利用できる施設を整備し、総合的な支援事業を実施する。
震災により使用不能となった相馬市水産物の根幹施設である荷捌き、共同集配施設等を再建する。



12 原釜漁具倉庫施設(底曳及び小型)

(底曳及び小型) 相馬市尾浜字追川196

概要	構造:木造 階数:一部2階建 建築面積:3,935.03㎡ 延床面積:5,190.79㎡ 機能内容:漁具倉庫(底曳:4棟246区画、小型:7棟84区画)
事業費	6億2,309万円
財源	国補助等 100%

水産物の早期経営再開を実現するため、基盤再生に必要な共同で利用できる施設を整備し、総合的な支援事業を実施する。
新たな住宅地整備に伴い、漁業者の職住分離の新しい漁業形態を支える施設として、漁具等を保管する漁具倉庫を整備する。

